

別紙

I. 事業評価総括表（令和元年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金 充当額	備 考
1	地域活性化 措置	生ごみリサイクル処理事業	上越市	239,503,477	171,795,009	

II. 事業評価個表（令和元年度）

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	地域活性化措置	生ごみリサイクル処理事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		上越市	
交付金事業実施場所		上越市内一円	
交付金事業の概要		<p>生ごみリサイクル処理業務委託事業運営費（平成31年4月分～令和2年3月分）。 市民が分別排出した生ごみを民間事業所の生ごみ再資源化施設においてバイオマスとして利活用し、燃料化などを行うことでリサイクルを図ります。</p>	
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>上越市では、第6次総合計画で「ごみ減量・リサイクルの推進」を基本施策に掲げているほか、「バイオマスタウン構想」を策定し、環境施策として循環型社会の構築を推進しています。その一環として、生ごみをバイオマスとして利活用し、家庭から発生するごみの減量と再資源化を進め、環境の保全と資源の有効利用を図ります。</p> <p>交付金事業に関する主要政策・施策 第6次総合計画（平成27年度～令和4年度） 2-1-1 ごみ減量・リサイクルの推進 2) リサイクルの推進 ・限られた資源の有効利用とごみの減量を推進するため、市民へ資源物の分別収集ルールを浸透を図ります。</p> <p>【目標】 家庭ごみの資源化率 50%（平成30年度及び令和4年度）</p> <p>※上記資源化率には、生ごみ以外の資源物（古紙類・金属類・容器包装など）を含みます。</p>	
事業開始年度		令和元年度	事業終了（予定）年度 令和元年度
事業期間の設定理由			

	成果目標	成果指標		単位	評価年度		
					令和元年度		
交付金事業の成果目標 及び成果実績	家庭ごみの 資源化率 50%	資源物量÷ 全家庭ごみ 量×100 ※資源物量 には生ごみ 以外の資源 物も含みま す。	成果実績	%	45.4		
			目標値	%	50		
			達成度	%	90.8%		
	評価年度の設定理由						
	処理実績を検収し次第、評価を実施						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	<p>令和元年度における生ごみの排出量が見込みを下回ったことも影響し、家庭ごみの資源化率は目標値を下回る結果となりました。しかし、資源化率自体は前年比+3.0%となり、資源物の有効活用を昨年度以上に推進することができました。</p> <p>引き続き、生ごみを含めた資源物の適正排出及び分別の周知徹底を行い、ごみ減量と再資源化を推進します。</p>						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
	交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	平成29年度	平成30年度
生ごみ処理量 ・平成29、30年度…4～2月 ・令和元年度………4～3月		活動実績	t	7,906	7,663	7,993	
		活動見込	t	8,719	8,393	8,654	
		達成度	%	90.7%	91.3%	92.4%	

交付金事業の総事業費等	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
総事業費	234,821,268	227,582,487	239,503,477	平成29年度～令和元年度 総事業費 701,907,232
交付金充当額	200,000,000	177,303,100	171,795,009	
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	200,000,000	177,303,100	171,795,009	
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
生ごみリサイクル処理業務委託	随意契約	上越バイオマス循環事業協同組合	239,503,477 (4月～3月分処理実績)	
交付金事業の担当課室	自治・市民環境部 生活環境課			
交付金事業の評価課室	自治・市民環境部 生活環境課			